

加西市 青野原俘虜收容所

写真展 講演会 演奏会



今回、この東屋を再現しました。
どんな建物になったかは現地です。

青野原俘虜收容所は大正4年9月～9年1月まで開設。第一次世界大戦中、中国・青島で捕虜となったドイツとオーストリア＝ハンガリーの捕虜兵たち（当時の表現では俘虜）、約500人が收容されていました。捕虜の取り扱いを定めた「ハーグ陸戦条約」により尊厳が守られ、遠足や運動、文化活動なども認められ、周辺地域の人々との交流などが行われていました。

今回は、『住とスポーツ』をテーマに、当時の青野原俘虜收容所の写真(約50点)を展示するとともに、講演会、当時を再現した演奏会を開催します。(現地でのガイドについては、公会堂から将校用風呂までの間とさせていただきます。)

写真展 令和3年11月21日(日)～28日(日) 10:00～16:00 (28日は17:00)

場所 青野原町公会堂横 倉庫 (加西市青野原町)

テーマ 『俘虜たちの住とスポーツ』

期間中、富合地区の農産物などの直売ブースを開設しています。

写真展・講演会・演奏会とも
入場無料

講演会 令和3年11月21日(日) 13:30～15:00

場所 青野原町公会堂前 特設会場

演題 『青野原俘虜收容所の「おっ！」—捕虜の写真から、もう少し見えてきたこと—』

講師 加西市教育委員会生涯学習課 課長補佐 萩原康仁 氏

講演会にご来場いただいた方には、先着150名様に“フロインドリーブ” ※

(神戸市)のパン、または地元、富合地区の“森庵”のクッキーをプレゼント!

また、抽選で3名の方に“フロインドリーブ”のクッキーを差し上げます。



※フロインドリーブ…90年以上の歴史を持つ神戸の老舗のパン屋さん。現社長のへら・フロインドリーブ 上原さんの祖父ハインリヒ・フロインドリーブ氏が第一次世界大戦中に捕虜として連行された日本に留まり、敷島製パン初代技師長を経て、神戸市に有限会社ジャーマンホームベーカリー(フロインドリーブ)の前身となるパン屋を開店。NHK朝の連続テレビ小説『風見鶏』のモデルとして知られる。

青野原楽団演奏会 令和3年11月28日(日) 13:30～15:00

場所 青野原町公会堂前 特設会場

ナビゲーター 静間佳佑 ヴァイオリン 横山亜美 後藤維花

ヴィオラ 春田真理子 チェロ 田村賢一

コントラバス 宮田雄規 オルガン 東前克枝

ピアノ 左手のピアニスト 有馬圭亮 東前克枝

F.シューベルト / 軍隊行進曲 ベートーヴェン / 交響曲第6番「田園」より・交響曲第9番より
グノー/アヴェ・マリア 日本の四季メドレー ほか



俘虜たちの音楽隊

主催 ももこの11(富合地区ふるさと創造会議(兵庫県加西市)) 共催 青野原俘虜收容所跡保存会

協賛 有限会社 ジャーマンホームベーカリー エッチ.フロインドリーブ

この事業は、文化庁「地域文化財総合活用推進事業」の補助を受けて実施しています。



会場案内図

